

■プロジェクト一覧

No.	プロジェクト名	内容	経済	環境	社会	参考
1	小浜向けのプログラミングスクール	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング思考、霧島のIT教育の土台のひとつになるもの ・なるべく多くの人を受けられて、かつ事業として継続できる仕組みが必要 ・その道に進みたい人への仕事の斡旋、浜辺で集まってシステムやアプリを作れる場づくり ・山間部とか小浜とかでしたいけど人が集まりやすいことを考えると国分か 	うまく宣伝するからスポンサーお願いします		小浜の教育への関心度UP	2
2	市街地を走り抜ける	<ul style="list-style-type: none"> ・国分の市街地(コアよか付近)で50メートルを走る ・対象は子ども ・周辺の空き地や道路では移動販売車や露店が並ぶ ・大人向けのイベントはあっても子ども向けのイベントがない 		1	1	2
3	You can say help!! 助けてと言っていいよ!!	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとを一人で解決するのではなく、誰かに頼っていいと市民全員が思える市へ ・いろんな専門家がいて、いつでも相談できてみんなが笑って暮らせるようにみんなで支えあえる ・家、食べ物、コミュニティ、スペース、車などの物質面 ・心、精神、信仰心(あやしいのではなく)などの精神面 ・どちらも偏見なく言葉に出して「助けて」が言える 	<p>生きたお金が回るようになる お金が「お金」ではなく感謝のしるしになる 物々交換でもよい 新たな雇用が生まれる</p>	<p>食品ロスが減る →余っているモノをみんなで分けられるから 空き家活用! より良い安心安全の町</p>	<p>休職率、離職率下がる→ゼロへ 子育てがしやすくなる 住むところの不安がなくなる うつ病減る</p>	8
4	ゴミを出さない生活を当たり前～サーキュラーエコノミーの普及～	<p>リサイクルよりもリユースが便利で経済的な社会(オシャレでカッコよく)にしたい。 無垢食堂をその拠点に量り売りやデポジットで販売、貸出をすすめることでごみの削減 ペットボトル・プラゴミゼロへ、モノを大切に使う、良いものを長く、借りたら地球へ返すの意識</p>	<p>新しい仕組みを取り入れることで 新しいビジネスチャンスや雇用機会が生まれる</p>	<p>ゴミが減る →CO2削減 →温暖化STOP</p>	<p>環境への意識が高くなる →住みやすい環境社会 →住みたい人が増える</p>	2
5	生かそう	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある自然をむやみに壊すのではなく、あるもので生かせるものは生かしつつ足りないものを補っていく ・建物、公園、施設など ・建物、住宅、ただ壊す作るではなく、そこに今まである歴史を感じつつ使いやすいように手を加える ・そこにいる人たちにも出てきてもらいやすいようにする 				2
6	霧島でつながる会	<p>多様な業種・職種の人がつながる場 それぞれに必要なものを表現しあい、それぞれのできることを分かち合うことで結果的にサポート・協力し合える。そして霧島を好きな人が増え魅力が上がり人が集まるまち。</p>		美しい自然が守られる	人と人がつながる社会	8
7	酒造りを通して、持続可能な食の安全性を高めていく	<p>使うもの お金:3 時間:5 得られるもの お金:5 時間:0 プロジェクト:+5 意思:+5</p>	世界基準で価値あるお酒が認められれば必ず経済効果につながる	食の安全性を高め、それが評価されることで後継者育成や新規事業者も増える	地元への関心や愛が深まればそれがスタンダードになる魅力ある社会に近づく	2

■プロジェクト一覧

No.	プロジェクト名	内容	経済	環境	社会	参考
8	海を目の前に。健康美容コミュニティイベント	錦江湾を目の前に、日常生活1時間情報から離れ自分自身コミュニティーを対話し、良い環境で良いことをする。 目的や「日頃の疲れを解消」「横のつながり」を作ること。 個人がつながり1つの大きな集合体となり霧島市の魅力を作る。		自然に帰る	コミュニティ形成	
9	多角的なインキュベーション施設を！！創業支援	○多角的な事業を生み出すための施設 (敷居を低くしてコミュニティ)→フードコート、カフェ等 ・戦略、戦術、キャッシュ、デザイン を武器に個々のやりたいを成功させる確率を上げる さらに、各人それぞれがつながることで確率を上げる ○霧島のまちの資源、海の資源、山の資源を使った場所づくり、イベント ・マインドセットの場、情報をインプットする場、人と交流を持てる場 ○1市6町に拠点 ・地域に密着してニーズを収集	1	0	1	3
10	ピッツァ専門店(隼人町 姫城)	ピッツァ専門店 ・ピザ教室、テイクアウト、店内飲食、キュレーション(全国のおいしいものを選び提供) 持続性、地元の生産物を使う(地産地消)、時間限定で1カット100円で小学生に販売	地域にない食文化 今までにない集客	地産地消	少人数の店内で安心して利用	5
11	誰もが移動しやすいまちづくり	利用者の目線にあった公共交通網の整備	交通網の充実によって買い物など域内における消費の増加が見込める	自家用車の使用減に二酸化炭素排出の削減	高齢者など交通弱者の減少	4
12	ガラスを身近にする	体験を通してガラスを身近に感じていただく 自然のエネルギーをいかにガラスに取り入れることができるか 山に住むのか	1 楽しい時を過ごす	△1 ガス、電気を消費		
13	霧島まちおこし共同体	霧島市内各地でまちおこし、地域の活性化等の活動を行っている方々と一体になる組織を作る。 みんなでそれぞれの課題を解決する。 また、みんなで地球環境や社会の今後の在り方を学んだり情報共有する。	∞	∞	∞	2
14	ロス食材の流通	余った食材や規格外食材を捨てるのではなく、必要とする場所にわたるようにする。 Uber Eats のように時間がある人が運んで報酬をもらえるようにすれば、雇用も生まれて食材のロスもなくなる。生産者も捨てているものがお金に代わってみんなハッピーになる。 自転車(e-bike)とかで配達できると環境にもなおよい。	50→70 雇用↑ 生産者のロスが減って売り上げ↑	80 stay 車の動きがちよつと増える日 食べ物のロスが減る	70→80 食べ物に困る人が減る	5

■プロジェクト一覧

No.	プロジェクト名	内容	経済	環境	社会	参考
15	フードロスと車利用率の削減でCO2の削減を	①コンビニやスーパーの期限切れ前のお弁当や総菜を廃棄せず無償でこども食堂へ ②規格外の霧島市の特産品で肉や野菜等を安くで販売するスーパーを作る ③ノーマイカー通勤デーを実施した企業や自転車通勤や公共交通機関通勤者の目標率を定めて目標を達成した企業には市から補助金を出す。 ④省エネルギー住宅を建設した方へ市から補助金を出す。	7	7	7	1
16	介護をなくす	高齢になっても障害を持っても不安や心配のない社会を築くことができれば最後まで自分らしい生活を送ることができ、介護は必要ではなくなる	行政の社会保障費を抑えることができ、本当に必要な方に必要なだけの社会保障サービスが受けられる。 住みやすい環境づくりを行うことで人口の増加、雇用が生まれる		昔ながらのお互い様の地域社会が築けるようになる。 いつまでも役割のある地域づくりにつながる。	5
17	サブカルチャー底上げプロジェクト	霧島で活動する次世代の文化になるであろうサブカルチャーを人の目にあたるようにする。それぞれのコミュニティの構築(音楽、画家などアーティスト、地域でモノづくりしている人) →コミュニティの集合体をつくる、このコミュニティで新しい創造をする →一人で活動できない範囲をみんなで補う →まちの底力をあげる	当たったコミュニティがお金を生むはず	この環境を使うことにより、霧島の環境の良さを再認識につながり新しい魅力発信もできる	より多くの人がいりいろなカルチャーに触れることにより想像できる範囲が広がる	12
18	中山間地域活性化	過疎によって多くの地域課題がある中山間地。 多世代にわたる地域内外の交流及び地域資源を活用した魅力の創出、発信のできる拠点を作る。 人口減少していく中、都市と里山の共存共栄社会の実現、インバウンドを中心とした外貨獲得を目指す。	雇用の拡大	自然保護 生物多様性	移住促進	5
19	帰ってきたい霧島	高校卒業と同時に出ていく若者が多い(進学・就職) その若者が帰ってきたいまちづくり ①一時的な帰霧/既存の観光資源に加え、キャンプ、アウトドア、アクティビティが楽しめる施設整備により、友人などを連れて帰ってくる。 ②恒久的な帰霧/大企業ばかりではなく起業しやすい環境を整えることによりU/Iターンによる優秀な人材の定住化 ③全国的なチェーン店が多いことは住居を決める一因になるので、それらと共存できるような商業の差別化 ④様々な年代の人々が交流できるような場	雇用の拡大			2

■プロジェクト一覧

No.	プロジェクト名	内容	経済	環境	社会	参考
20	女性のライフステージの変化を強力に支える家事代行	<ul style="list-style-type: none"> ・産前産後、就業の変化、介護などのライフステージに力強く家庭をバックアップする家事代行事業。 ・地域の文化を共働き家庭につなぐ孤育てをなくす。 ・働く効率を上げるための知識や、家事を効率よくすすめるためのスキルを共有、幸せな時間を作る。 	5 無理をせず働き方と家庭のバランスが取れる女性の増加により、収入増の家庭が増える	4 地産地消の推進とフードロスの削減	3 ・社会・地域のコミュニケーション量、質が上がる。 ・文化の継承がスムーズになる。 ・教育機会を拡げるきっかけづくりへ	1
21	obama village	<ul style="list-style-type: none"> ・本社移転に伴う社屋建設と複合施設の建設、管理運営。 ・休耕地や空き家の活用 ・スタートアップ支援 ・チャレンジショップ運営 ・民泊 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が増える ・雇用が増える ・税収が上がる ・若い人が戻ってくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイオンオフィルターを利用した水質改善、水路確保 ・休耕地の減少 ・自立循環の仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会への積極的参加と支援 ・地域のイベントを増やす 	7
22	世界から、と 世界へ	<p>地域で育み地域で作る美しいところで美しいものが作られていることを広報し、日本人の強み、創意工夫を世界にPRするクリエイターと様々な事業者とのマッチングを行い、ブランディングの強化を行う(鹿児島空港をハブ空港にする)。 様々な共業、共創を行い、作ったものが金になる社会の創出。地域ですべてをまわせる霧島。</p>	10	10	10	1
23	クラフトビールの盛んなまち	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ、ポートランドのように醸造所(ビール)が多く、ビールの祭りなどを通し町に活気を ・また、ビールのパッケージング、酵母の培養、麦芽等の原材料を地産地消にすることで各分野の会社を設立し、雇用も増やす。 ・ビールに使った原料を畜産のえさや肥料にまわすことで、ビール造りを通していろいろなところへのサポートを可能にする。 	2 地元での祭り観光地化	2 ビールの原料がえさや肥料になる	2 雇用を増やす	10
24	描いて歩いて霧島をつなげる	<p>1市6町それぞれの地域で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな紙やシャッターやブロック塀にみんなで1枚の絵を作る(飾ってもらう)。 ・汚れるので歩いて温泉へ、帰りに歩いている途中にあるお店(近くにない場合は自然探索) <p>SNS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加するたびにシール ・集めたら霧島の特産品 	興味を持った人が参加してまたその人が発信していくことで紹介された地域へ→移住	歩いてみることで自然やその地域に意識してごみのポイ捨て等しなくなる。 錆びたシャッター、ブロック塀が明るくなる	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人とのつながり ・アートへの理解 ・いろいろな考え方 	4
25	マネーの虎の会(行政対民間)	住民がSDGsを踏まえ、行政へプレゼンし、資本・人・場所などを提供する。定期開催する仕組み、小さな発送。大きな発想にかかわらず、まず動き出す一歩を増やす。	1	1	1	2

■プロジェクト一覧

No.	プロジェクト名	内容	経済	環境	社会	参考
26	霧島市1市6町合同イベント	霧島市1市6町が合同でイベントというものと一緒に取り組む。それぞれの町が自分たちの町にどういった人がいて、どういった環境があるかを知る。また、他の町の素晴らしさも知り、霧島市全体の素晴らしさを共に感じる。住民のみんなも主体的に参加できるイベント開催。 自分たちの町をみんなで好きになり、他の県・地域にも自分の町の素晴らしさを発信できるようにする。まずはアクションする！！	雇用が増える	環境を好きになり守る。	・地域住民のつながり ・若者が町を好きになる	2
27	小さい暮らしのある生活	生活に余白、余裕を持つコミュニティ村を作る。 お互いに助け合ったり、何か一緒に作業をしたり自分や家族の時間を過ごす。余白を作り幸福感を増やす。	大企業への依存がなくなり、自分たちでやれることは自分たちでの意識が増えて市の経済は回ると思う。	0～10までを知ることになるので、バランスを取りながら環境に気を遣う暮らしができる。	子育てしやすい感情だと人々も増えるだろうし余白があることで、幸福度が増えて住みやすくなる。	4
28	横川駅前から広がる霧島の新しい楽しみ方	・横川は知れば知るほど面白い。「万人受けはしないけど刺さる人にはものすごく刺さる場所」だと日に日に確信する。 ・動いているうちに横川の周辺(牧園・溝辺)の面白さにも気づいてきたし、生活圈だから”町”のくくりで考えるのはムリがあると思ってきた。 ・自分が「おもしろい！」と思ったことは発信したい。 ・まずはフィールドにしている横川駅前エリアの楽しみ方から、徐々に周辺エリア全体のおもしろさをつなげたい。 ・それは定番ではない霧島の新しい観光・生活・経済の資源にできる。	地元にお金落ちる流れができる。行った先々で「お金を払ってもいい」と思えるコンテンツプロダクトができる。	「霧島市の豊かさ」を愛でる人が増え、地元の人がある価値に気づき見放していた土地、意識もしていなかった環境上の課題を知り、行動が変わる。	人の流れ、経済の動きができ(ソフト面)、そこに注目した行政・企業などが動いてハード面が変わっていく。	2